



地方独立行政法人青森県産業技術センター

あおもりの未来 技術でサポート

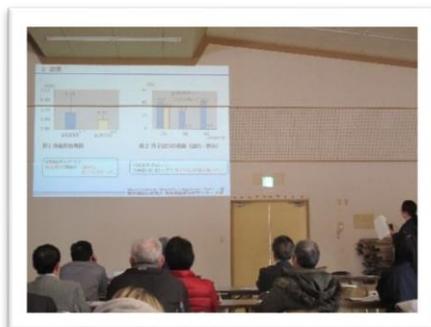
第15号

畜産研究所ニュース

2020.3.30

【酪農・肉用牛技術研修会の開催】

去る2月21日と2月25日、六ヶ所村（酪農会館）とつがる市（松の館）の2カ所で技術研修会を開催いたしました。六ヶ所村では酪農家の方など約60名、つがる市では肉用牛農家の方など約50名参加され、大変盛況な研修会となりました。



六ヶ所村会場



つがる市会場

以下、主な内容についてご紹介します。

二次破水直後の助産が乳牛の生産性に及ぼす影響

担当：西本主任研究員

<要点>

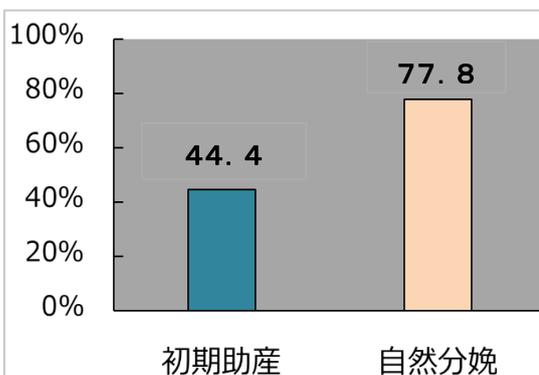
初産乳牛での初期助産※ ➡ その後の繁殖性に悪影響

(※2次破水直後のけん引介助)

- ・ 外子宮口の損傷 ・ 後産排出の遅延 ・ 分娩後のエネルギー不足、肝機能低下
- ・ 初回排卵の遅れ、**受胎率低下**（特に産子が40kgを超えた場合）、**空胎期間の延長**など

初期助産は控え、出来るだけ自然分娩で産ませる方が生産性向上

(ポイントとなるデータ)



3回目までの受胎率(例数:9頭)

試験区	頭数	空胎日数
初期助産	8	137.3
自然分娩	9	114.8

受胎牛の空胎日数

黒毛和種肥育牛へのモミ米サイレージ (モミ米S) 給与実証試験

担当：間山研究専門員

<要点>

肥育農家で配合飼料の3割(乾物)をモミ米Sに代替した場合



飼料費は約4~5万円/頭削減。肉質も向上傾向あり。

(ポイントとなるデータ)

区分	給与量(kg)	税込単価(円)	金額(円)
配合飼料	3,619	70.308	254,445
大豆粕	175	118.25	20,694
モミ米S	1,878	18.74 25.00	35,194 46,950
計			310,332 ① 322,088 ②
総TDN	3738.06		

区分	給与量(kg)	税込単価(円)	金額(円)
配合飼料	2,767	70.308	194,542
大豆粕	165	118.25	19,499
モミ米S	1,543	18.74 25.00	28,916 38,575
計			242,957 ① 252,617 ②
総TDN	2938.24		

注1) 配合飼料、大豆粕単価は実際の購入単価 (H30年4~6月)

注2) モミ米S単価: ①生産費から18.74円/kg ②流通平均単価25.00円/kg

モミ米Sを利用しない場合の飼料費

区分	給与量(kg)	税込単価(円)	金額(円)
去勢	5,192 注1)	70.308	365,039 ③
雌	4,080 注2)	70.308	286,857 ③

注1) 総TDN $3,738.06 / 0.72$

$\approx 5,192 \text{ kg}$

注2) 総TDN $2,938.24 / 0.72$

$\approx 4,080 \text{ kg}$

飼料費削減額 (1頭あたり)

区分	③-① モミ米S 18.74(円)	③-② モミ米S 25(円)
去勢	54,707	42,951
雌	43,900	34,240
平均	49,304	38,596

実証農家では、モミ米サイレージ(生産費18.74円)を約30%代替し、1頭あたり **4万9,000円** 儲かった。

モミ米サイレージを25円で購入して肥育した場合でも、1頭あたり **3万8,500円** 儲かる。

飼料用米奨励品種候補「青系201号」の特性

担当：佐藤酪農飼料環境部長

<要点>

本県では「中生の早」の飼料用米品種として「みなゆたか」が作付け。しかし

- 多肥栽培でのいもち病や倒伏の発生
- 一般米と識別性がないこと、が問題となっている。

青系201号は

- 多収で耐倒伏性強い
- いもち病抵抗性強い
- 玄米が一般米と識別性あり。

このため「みなゆたか」に替わる飼料作物奨励品種として普及に移す。



玄米写真

詳しい問い合わせ先
農林総合研究所
水稻品種開発部
(0172-52-4312)

令和元年度の黒毛和種4頭の現場後代検定成績

担当：阿保研究管理員
鎌田研究員

検定牛	頭数	枝肉重量 (kg)	ロース芯 (cm ²)	バラ厚 (cm)	皮下脂肪 (cm)	脂肪交雑 (BMS)	上物率 (%)	5等級率 (%)
美津信	21	477.6	61.8	7.7	2.9	6.9	81.0%	38.1%
花大平	17	513.4	60.1	8.2	2.8	6.1	76.5%	29.4%
隼風白清	22	452.2	59.7	7.5	2.6	6.5	63.6%	31.8%
美津裕斗	20	486.3	62.8	7.9	2.4	6.9	75.0%	35.0%
4頭の平均		482.4	61.1	7.8	2.7	6.6	74.0%	33.6%
過去5年の平均		473.9	60.2	7.9	2.5	6.5	69.6%	29.7%
春待白清	19	456.1	61.4	7.9	2.3	7.4	78.9%	47.4%
広清	15	468.5	61.7	7.6	2.6	7.7	93.3%	46.7%

- ◆ 枝肉重量・ロース芯・上物率は過去5年より大きく向上
- ◆ バラ厚・皮下脂肪・脂肪交雑は横ばい

基幹種雄牛の指定基準[上物率80%かつ5等級率40%(R元年から適用)]には満たず

今後の種雄牛造成

○ゲノム育種価を活用した検定牛の選抜

令和2年～本技術で選抜した検定牛の成績判明

○県内繁殖雌牛のそれぞれの系統に対応する種雄牛

糸桜系

「第1花国」
後継種雄牛

令和6年現検終了

兵庫系

「春待白清」と
「広清」
「優福栄」後継牛

令和4年現検終了

気高系

気高系を重ねた
増体型種雄牛

令和3年現検終了

【県内繁殖めす牛の血統分布】

順位	割合	父	2代祖(上位のもの)
1	20%	第1花国	安福久(23%)、平茂勝(17%)、安平(15%)
2	20%	安福久	平茂勝(42%)、勝忠平(22%)、第1花国(9%)
3	8%	百合茂	安福久(26%)、第1花国(18%)、安平(14%)
4	6%	平茂勝	安平(23%)、紋次郎(15%)、安福165の9(10%)
5	5%	勝忠平	安平(20%)、安福久(15%)、第1花国(13%)

直検牛や現検情報を随時アップしています。「和牛改良技術部」を検索🔍

(編集後記)

畜産研究所ニュースは、平成27年度から毎年3回発行し、今回で15号となりますが、編集担当の小職は本年度で定年退職となります。

新年度からは、広報媒体を工夫しつつ、引き続き、研究成果や経営に役立つ情報をタイムリーに発信して参ります。

今後も畜産研究所の試験研究の推進にご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

畜産研究所長 石山 治

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 畜産研究所

(和牛改良技術部)

〒039-3156

上北郡野辺地町字枇杷野51

TEL 0175-64-2231

FAX 0175-64-2230

〒038-2816

つがる市森田町森田月見野558

TEL 0173-26-3153

FAX 0173-26-3205

HPは「青森産技」で検索 Youtube 公式チャンネルもあります。

畜産の技術について何かありましたらお気軽にご相談して下さい。